


ご利用前の準備

ご利用前に下記のものをご用意ください。

- ナビ本機
対象機種をよくご確認のうえ、ご用意ください。
- パソコン
Google Earth™のインストールが必要です。Google Earth™のホームページをご確認の上、動作要件を満たすものをご使用ください。
- SD カード
ナビ本機の取扱説明書に推奨品の一覧が記載されていますので、そちらをご参照ください。

Google Earth™のインストール

Google が無償で配布している Google Earth™をパソコンにインストールします。既にお持ちの方は必要ありません。

アプリ概要のリンク  からダウンロードできます。

インストールについては、Google Earth™サイトのヘルプページや個人公開されている解説サイト等をご参照ください。

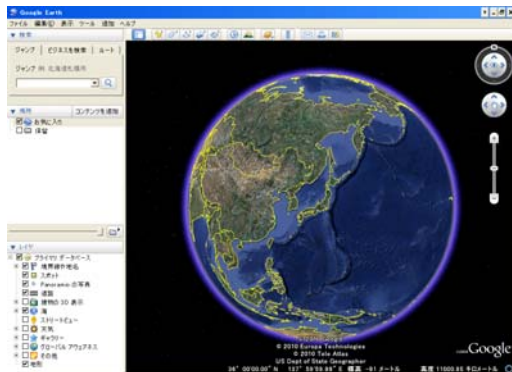
パソコンの準備

SD カードをパソコンに挿入しておきます。

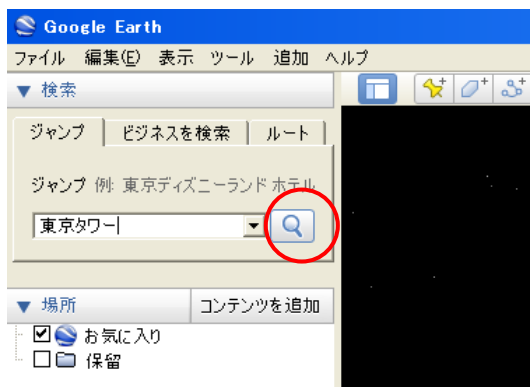
KML 変換の基本的な使い方

- ※1 KML 変換アプリ (KMLConv. sap) は、あらかじめSDカードに保存しておいてください。
- ※2 KML への地点の変換についての使い方を説明しています。Google Earth™の詳しい使い方については Google Earth™サイトのヘルプページや個人公開されている解説サイト等をご参照ください。
- ※3 本解説書の説明は、Windows パソコンの場合を例にしています。

① Google Earth™を起動します。



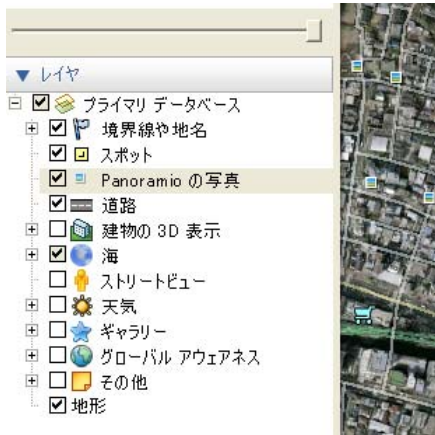
- ### ② 例として「東京タワー」周辺の地点ファイルを変換してみます。
- 左上の検索ボックスに「東京タワー」と入力し検索ボタンをクリックします。



- ### ③ 地球儀が東京タワーへジャンプし周辺地図が表示されます。「A」という地点目印アイコンが東京タワーの地点です。その周辺にいろいろな種類のアイコンが表示されます。



- ④ 左下のレイヤパネルで表示アイコンの設定ができますのでチェックを入れてお好みで表示/非表示をお選びください。下記のアイコンを表示させておくとスポット情報を探すときに便利です。



- ・ Panoramio の写真 : パノラミオという写真共有サイトに登録されている世界中のユーザーが撮影したその地点の写真が見られます。
- ・ その他→場所のカテゴリ : レストランなどのグルメスポットやショッピングモールなど様々な施設が選べます。
- ・ 建物の 3D 表示 : ほとんどの建物を 3Dで見られます。

- ⑤ それぞれのアイコンは、地図上でクリックすることでその地点の情報を見ることができます。たとえば、「Panoramio の写真」アイコンをクリックするとその地点でユーザーが撮影した写真が表示されます。レストランやお店のアイコンをクリックすると、そのお店の住所やクチコミ情報、URL などが表示されます。



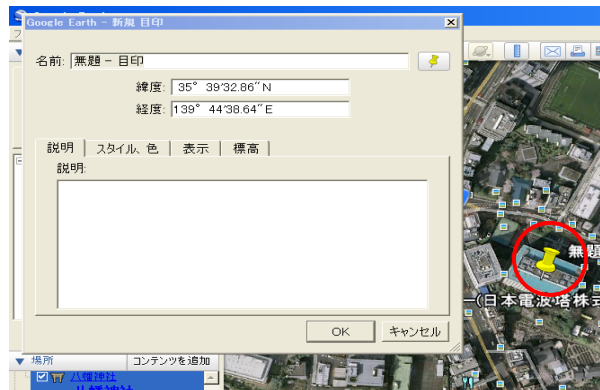
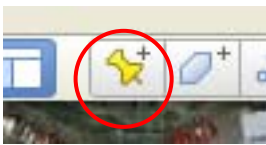
- ⑥ 変換したい地点アイコンの上で右クリックし『「お気に入り」に保存』をクリックします。下記の例の場合、「Tokyo tower」という地点名の Panoramio の写真アイコンを保存しています。



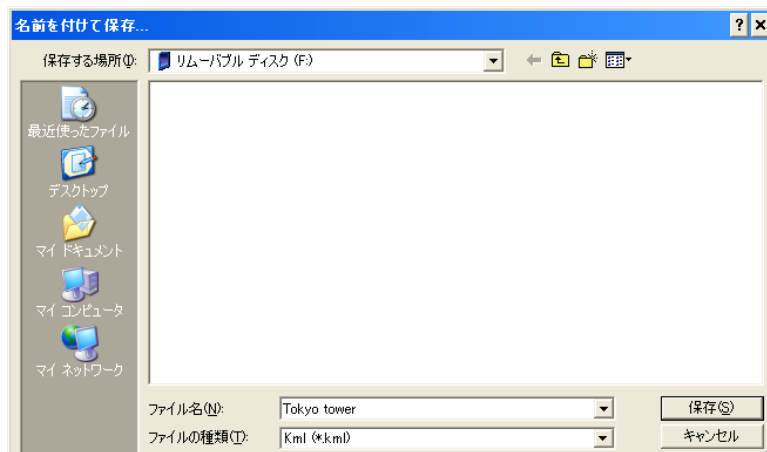
- ⑦ 左の場所パネルの「お気に入り」の下に先ほど保存した地点が登録されています。地点名の上で右クリックし、「名前を付けて場所を保存」をクリックします。



- ⑦-1 地点アイコン以外の場所を保存したい場合は、ツールバーの「ピン」アイコンをクリックし、ドラッグアンドドロップで保存したい場所にピンを移動させて「OK」をクリックします。ピンが地図上に登録されるので、ピン上で右クリックして「名前を付けて場所を保存」をクリックします。



- ⑧ パソコンに挿入されているSDカードに地点ファイル（KML ファイル）を保存します。ファイル名はその地点の名前を入力します。日本語でもかまいません。ファイルの種類は「kml」と「kmz」のどちらでもかまいません。



- ⑨ パソコンから SD カードを取り出し、ナビ本機に挿入します。



- ⑩ G アプリを起動し、「KML 変換」を選択します。

※操作画面は NV-LB50DT の場合です。G アプリ以外の操作はお使いの機種種の取扱説明書等を参照ください

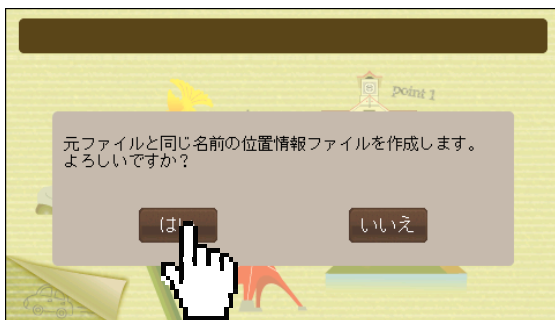


- ⑪ SD カード内にあるフォルダと KML ファイルの一覧が表示されます。変換したい KML ファイルをタッチします。この場合、「Tokyo tower.kml」をタッチします。



※フォルダを選択した場合、そのフォルダ内のリストが表示されます。ファイルは KML、KMZ ファイルのみ表示されます。

- ⑫ 下記のように問われますので、「はい」をタッチします。



- ⑬ KML ファイルの変換が完了します。「OK」をタッチし、「G アプリ選択」から「モード」→「ナビゲーション」とタッチし、ナビを起動します。



⑭ メニュー → 目的地 → 次へ と進み、「SD から」をタッチします。



⑮ 地点ファイルの一覧に先ほど変換した地点がありますので、タッチして地図を表示させます。

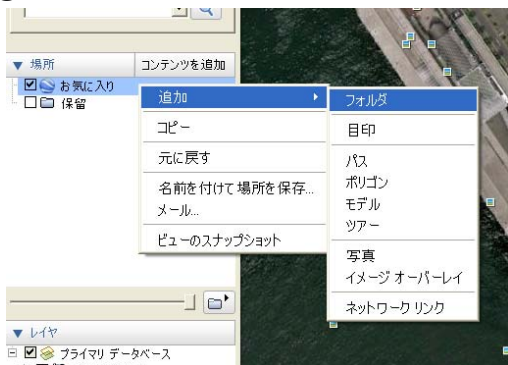


⑯ Google Earth™上の地点と同じ地点が表示されたことが分かります。「目的地にする」をタッチするとルートが探索され、案内を開始できます。

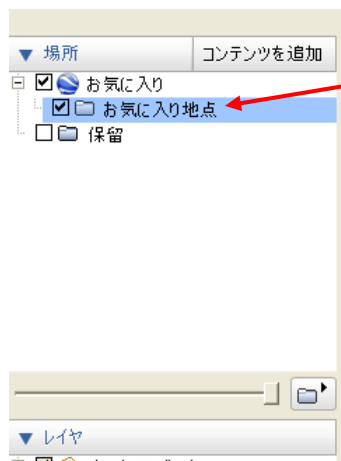
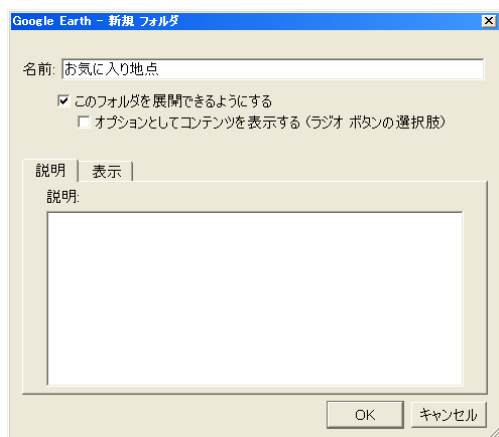
少し進んだ使い方（複数地点の登録）

上記のようにひとつの地点を変換するのもよいですが、少し進んだ使い方として複数の地点を KML ファイルに登録して一括で変換する方法を説明します。

- ① 場所パネルの「お気に入り」を右クリックして「追加」→「フォルダ」とクリックします。



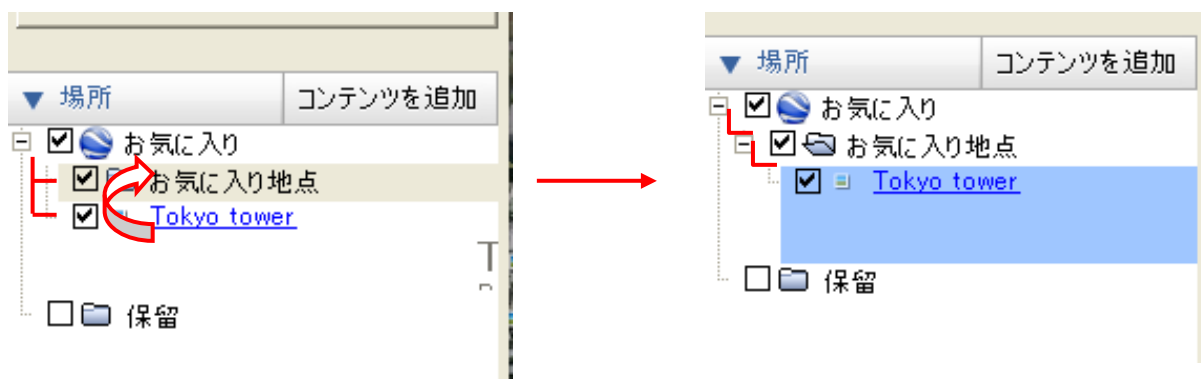
- ② 下のようなウィンドウが表示されますので、名前のところにお好きな名前を入力し「OK」をクリックします。ナビで目的地設定するときに分かりやすい名前にしておくとよいでしょう。



入力した名前でフォルダが作成されました

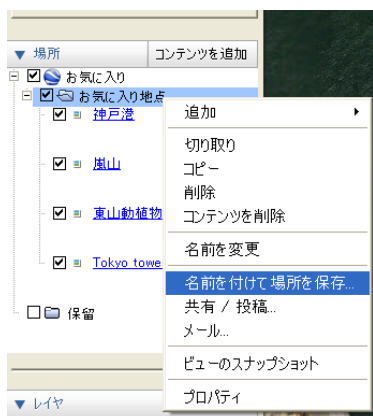
- ③ 「基本的な使い方」の③～⑤を参考に、変換したい地点を地球儀上で検索するなどして保存します。

- ④ 保存した地点をドラッグアンドドロップで先ほど作成したフォルダの中に移動します。



- ⑤ 上記③、④を繰り返していくつかの地点をフォルダに保存します。
※KML 変換は、フォルダは最大 8 階層、地点は最大 700 地点までの変換が可能です。

- ⑥ フォルダ名の上で右クリックし「名前を付けて場所を保存」をクリックします。



- ⑦ 「基本的な使い方」の⑦～⑫を参考に KML ファイルを変換します。
⑧ ナビを起動し、メニュー → 情報 → SD 地点取込 と進みます。



- ⑨ 変換後の地点フォルダを選択すると、Google Earth™で保存した地点リストが表示されますので、「全選択」をタッチし、「登録」をタッチして一括地点登録します。



- ⑩ Google Earth™で出力した地点がナビに登録できました。目的地設定で登録地点から目的地を設定できます。
その他詳しい使い方はナビ本機の取扱説明書をご覧ください。

制限事項・注意事項

- 変換できるファイルは拡張子が「.kml」か「.kmz」のファイルのみです。また、すべての KML・KMZ ファイルに対応しているわけではありません。基本的には上記の方法で出力した KML・KMZ ファイルの変換に対応しており、その他の方法によって出力した場合、ファイルによっては変換できないこともあります。
 - 対応している KML・KMZ フォーマットのバージョンは 2.2 です。
 - KML 変換が認識できるファイル名・フォルダ名は最大 256 バイトです。リストに表示される文字数は 24 文字までです。
 - KML・KMZ ファイルのファイル名には、半角のピリオド「.」を使用しないでください。変換後のフォルダ名が正しく表示されなくなります。
 - フォルダを含む KML・KMZ ファイルの場合、フォルダ構造によっては変換後のフォルダ構造が一部異なってしまう場合があります。
 - リストに表示できるファイル・フォルダは最大 990 個までです。(1 画面 10 個 × 99 ページ)
 - KML 変換が読み込める SD カードの最大フォルダ階層は Root (トップの階層) を含めて 9 階層です。
 - KML 変換で変換可能な地点数は、ひとつの KML・KMZ ファイル毎に最大 700 地点までです。ただし、ナビに地点登録できる地点数には限りがありますので、700 地点すべてをナビに登録できるわけではありません。ナビ側の最大登録地点数は機種によって異なりますので、各機種の取扱説明書を参照してください。
 - KML 変換で変換可能なフォルダ階層は、ひとつの KML・KMZ ファイル毎に最大 8 階層までです。
 - 日本国外の地点が保存された KML・KMZ ファイルには対応していません。
 - その他の操作については、G アプリの操作説明を参照してください。
-